



響き

No.135

2007.11.20

発行 莊原公民館

斐川町莊原町712-3

(電・FAX) 72-4600



披露

ステージ発表のオープニングは
東部保育園の子供たちの歌と
踊りでした。



食べる

屋外では毎年好評のやまももの会のみなさん
手作りのパンケーキが並びました。

秋晴れの中 文化祭開催!!



「アイ」の広場では、盆栽・山野草の
みなさんの展示がありました。

観賞



莊原町消防団による放水作業
体験も大人気

体験

秋恒例の莊原地区文化祭&健康まつりが、十月十三日(土)十四日(日)公民館を主会場に行われ、今年も沢山の人で賑わいました。十三日は、健康まつりとして健康チェックやグラウンドゴルフ大会、そして「聞いて得する話(消費者問題いろいろ)」と題し、消費者問題アドバイザー川田ナツノさんの講演が行われました。十四日は文化祭として各種の展示、駐車場でのバザー、そして集會室では、各団体の演技披露が行われました。

「健康まつり」と
併せ開催

10月13日(土)
14日(日)

目次

- 莊原地区文化祭開催…(1)
- 新しい館長に竹田さん…(2)
- 第3回地区環境フェア開催、他…(3)
- おいでませ館だより、他…(4)

新館長に竹田 勲さんが就任

この度、九月末で任期満了を迎えたため神門館長が退任されました。そして、それに伴い、後任の館長を選任するため公民館審議会内にて選考委員を設け、検討した結果、竹田勲さんが選出され、十月一日から就任されました。今回お二人にお言葉を頂きました。

◆就任のご挨拶◆

竹田 勲

歴史ある庄原公民館館長の辞令をうけて、あらためて身の引き締まる思いであります。

今、私たちを取り巻く生活環境は、格差の問題をはじめ都市と地方、環境対策、少子高齢化社会、年金不安、更に、町財政の危機的状況等緊急を

要する諸問題が滞り続けております。

一方、公民館活動は日先の問題を解決することは勿論ですが、それだけにとらわれず在るべき姿を求めて活動すべきと思います。

例えば、子供たちの「安全・安心」「食・育」等の教育環境の醸成であります。

最近突発的に襲い掛かる「災害弱者の救済の在り方」「環境問題」は継続して取り組むべき課題であると同時に緊急な具体的要求であると認識しております。

心すべきは、当然のこととはいえ、「公正・公平」な運営でありますし、精神は「白他の敬愛」であると信じて居ります。

様々な諸団体、子供から老人まで男女を問わずみなさま方が気軽に参加されるなかで、建設的なご意見をいただきながら協働してより活発な公民館活動の進展に寄与する所存で御座います。

ご指導ご鞭撻を賜り、ご協力の程をよろしく御願ひ致します。

◆退任のご挨拶◆

神門 弘明

猛暑続きの今年は、十月に入り朝晩少し涼しくなり、やっと秋を感じる事ができるようになりました。

終わってみれば早いもので、公民館に勤務して以来あつという間に十年という歳月が去ってしまいました。まさに「光陰矢の如し」を実感しています。

勤め始めた頃は、教室の数も今ほど多くなく、幾つかの事業と決められた行事があるだけでしたので忙しいとか大変だという実感はありませんでした。

しかしながら近年、公民館が地域活動の拠点として益々その役割が重視され、幼児から高齢者まで活動内容も多岐に亘り関わるようになりました。しかし限られた公民館の陣容



一昨年6月から本格的にスタートした「子供の安全を守る会」の活動



「健康づくり」の一つとして始まったウォーキング

では到底対応しきれぬものではありません。

ところが窮状を訴え応援を頼みますと、大勢の方々が手を差し延べて下さり、新しい事業が何の抵抗もなく次々と立上りました。生き生きと活動されている皆様のお姿を拝見し誠にありがたく嬉しく思い心から感謝しました。活動のいくつかを上げてみますと、中高年健康づくりの会、おいでませの会、庄原地区健康づくりの会、子どもの居場所づくりで五つの教室ができ、子どもの安全を守る会などもあり活動をして頂いています。

微力ではありましたが、地域のため皆様のために少しでもお役にたてればと思ひ努めてまいりました。

終わりになりましたが、皆様のご健勝とご発展を祈念して退任のごあいさついたします。

第3回 莊原地区環境フェア開催!!

今年で第3回目となる、やまももの会主催「莊原地区環境フェア」が8月25日(日)行われました。主なコースは3つ。「EM菌の活用・ダンボールコンポスト作り体験コース」、「こどもと一緒に莊原地区内の川辺探検コース」「ソーラーカーを作ってみようコース」そしてお昼にはお祭りの「ソーメン流し」も行われました。今回の開催には公民館、環境美化推進員、地区民生児童委員、更生保護女性会に加え、宍道湖自然館ゴビウス、国土交通省出雲河川事務所の協力を得て行いました。

河川上流の探検で自然を再発見
EM菌で生ゴミの減量化の勉強も 8月25日(日)



EM菌の話を聞く参加者

▼川の中にはどんな生き物がいるのかな(羽根川にて)



カゴも取れまじき

集会室では女性を中心に約十五名が参加、環境アドバイザーの錦織文子さんを講師に招き、EM菌を利用した生ゴミの減量化・再資源化についての勉強会と環境に優しいダンボールを利用したコンポスト作りを体験しました。

野外活動として行われたのが、莊原地区内の川の源流探検。これは莊原小学校の子供たちを中心にして約五十名が参加、三班に分かれそれぞれ神庭地区の新石川、三緒地区の羽根川の源流を求めて出発。

川辺探検終了後行われたマップづくりの様子



宍道湖自然館ゴビウスの佐々木 興さん、野崎 研さんらの助言を受け川に住む様々な生き物を採取しながら探検。その後、公民館に戻り班ごとにマップを作り成果発表を行いました。子供たちは莊原地区に残る自然の豊かさを再発見した様子でした。また低学年を対象として行われたのがミニチュアソーラーカー作り。太陽電池の仕組みを楽しく学びました。

全てのスケジューリングが終わった後はお祭りの「ソーメン流し」と焼きおにぎりです。美味しい体験もしました。

地区民体育大会開催 9月30日(日)



今年もたくさんの参加者で盛り上がった体育大会

＜莊原体協報告＞

総合優勝は中溝自治会

九月三十日(日) 莊原体協最大の行事「地区民体育大会」が莊原小学校グラウンドで行われました。今年も午前中は、自治会対抗の競技の合同を兼ね小学校の各学年の玉入れなどの競技も行われました。結果は次の通り。

- 総合優勝…中溝自治会
準優勝…北新町自治会
三位…新川自治会
四位…羽根西自治会
五位…大井上自治会
六位…馬役自治会
七位…南田波自治会
八位…新生町自治会
九位…空港西自治会
十位…灘南自治会

始めます!!

「男の料理教室」

健康づくりの会の事業
として今後定期的に

昨年二月、荘原地区健康づくりの会の事業の一環として行われた「男の料理教室」。その後、参加者の方から再度開催の要望があり、今後定期的に開催することになりました。具体的な日程等は左の通りです。参加希望、詳細についてはの問い合わせは公民館まで気軽に。一報ください。

《開催日程》

一回目 一月十七日(木)
二回目 二月二十一日(木)
時間 いずれも午前九時半から
会場 公民館調理室
会費 五〇〇円



昨年の2月行われ好評だった「男の料理教室」の様子

庄原
ミディサービス

おいでませ館だより

10月は子供たちと交流会

十月の「おいでませの会」は、荘原小学校三年生の子供たちとの交流会が行われました。この内、十五日に行われた会にもたくさんの子供たちが「おいでませ館」へ訪れました。今回の特徴は子供たちが自分たちで交流内容を考え、司会進行も行ったことでした。各班に分かれてのお手玉を使ったゲームや肩たたきなど行われ、後半の意見交換では子供たちから積極的な意見がたくさん出て大変盛り上がった会となりました。



笑顔いっぱいの交流会でした。

交流会が終わった後、子供たちが書いてくれたお便り



子供たちの「お便り」で皆さん大感激

今回参加した荘原小学校三年生の子供たちから交流会の後、おいでませの会のみなさん宛てに、かわい「お便り」が届きました。

お便りをもらった皆さんは一同に大感激の様子でした。

今後、十一月は「シクラメン観賞」、十二月は「年忘れの会」が予定されています。



お便りをいただきました。

◇編集後記◇

七月は雨が多く蒸し暑く、八月は当然猛烈に暑く、九月も、おまけに十月も暑い日が続きました。そして十一月に入り、ようやく朝夕が冷え込む日々がやってきました。「すわすわ」する日が多くなりましたね。

左の写真は神庭の福島一夫さんが撮影された作品です。これからこんな風景があちこちで見られる季節となりました。公民館も新しい館長を迎え、新たなスタートです。今まで同様ご期待ください。



福島一夫さん作「北帰行」